

H25年度剰余金の概要

1. 損益計算書等における利益（剰余金）

◎損益計算書の概要

ア_経常費用	2,332 百万円
イ_経常・臨時収益	2,591 百万円
ウ_当期純利益（イ-ア）	259 百万円
エ_目的積立金取崩	1.7 百万円
当期総利益（ウ+エ）	276 百万円

2. 平成25年度決算における剰余金の主な要因

【収入の増】

- A. 外部資金の獲得や新しいサービスを中心とした事業収入の増加及び効果的な予算の執行による剰余金
 （受託研究など外部資金や事業収入の増から事業支出分を差引いた収益）

約24百万

【経費の削減】

- B. 職員の努力による人件費の剰余金
 定数156名にて取り組むべく平成25年度の数値目標を、年度末人員数144名※で全て達成したことによる人件費の剰余
 （平成24年度退職手当の立替分38百万円含む）（※）フルタイム換算の職員数

約145百万

169百万円
 (A+B)

【その他】

- C. 給与改定に伴う人件費の剰余金
 平成24年、平成25年度に実施した給与支給額改定に伴い執行残となった人件費
- D. 会計処理上の利益
 事業収入を財源とした固定資産の取得に伴い発生した現金の裏づけのない利益など

約16百万

約90百万

106百万円
 (C+D)

H25年度 利益処分（案）

当期総利益276百万

- 知事の承認を受け目的積立金とするもの 169百万円
 （地方独立行政法人法第40条第3項）
- 積立金とするもの 106百万円
 （地方独立行政法人法第40条第1項）